

4 . 緑化重点地区計画

緑化重点地区とは

緑地の整備や保全、緑化等を重点的に行う地区です。市民や行政、事業者等が共に考え、行動しながら、21世紀の長岡市における緑をまもる・つくる・そだてる・際の、協働のあり方を先導して行う地区です。

緑化重点地区を選定する際には

水と緑のネットワークを形成する上で拠点となる、都市のシンボリックな役割を果たす地区
緑が不足している地区

緑化に対する住民意識が高く、あるいは活発に緑化活動が行われている地区

都市整備事業等と連携して、早い段階での緑化の具体化が見込める地区

等の観点から、抽出を行います。

長岡市緑の基本計画では

『市全体の緑の拠点として、重点的に緑化を推進する地区』として4箇所、『長岡市において、先導的に緑化を推進する地区』として3箇所、計7箇所を緑化重点地区として設定します。

緑化重点地区は、今後も地区及び市の状況により、必要に応じて地区の追加、あるいは変更等により充実を図る計画としていきます。

図 - 緑化重点地区位置



4 - 1 信濃川及びその周辺地区

(1) 地区の持つ特性

信濃川は約1kmの幅で、市の中心を南北に流れており、市全体の軸の役割を果たしています。市街地や水田が広がる平地部の中に、担保された広大な自然的環境であり、渡り鳥も来る、生物の生息地でもあります。

河川改修により高水敷が安定したことで、河川敷では樹木等が育ち、緑豊かな空間を形成しています。

信濃川が存在自体が市のシンボルであり、市民の心のよりどころでもあります。

(2) 地区の課題

市民と信濃川との間の実質的、精神的な距離

信濃川は市のシンボルであり、市民の心のよりどころという存在ですが、実際には河川敷内に市民が入って行ける場所や散策できる空間は少なく、実質的にも距離があります。

河川敷までのアクセスのバリアフリー化

信濃川の河川敷にアクセスできる場所は数多くありますが、道が狭かったり、また堤防により、誰もが気軽に行ける場所は限られます。

長岡水辺プラザの整備

信濃川の河川敷に人々の交流拠点となる長岡水辺プラザ整備が計画されており、その活用が期待されています。

(3) 地区緑化のテーマ

都市の骨格となる、信濃川の恵みを活かした緑の軸づくり

(4) 地区緑化の基本的な考え方

信濃川沿いを散策したり憩える空間を形成し、市民が信濃川に集まって来られる空間づくりを進めます。また堤内から信濃川沿いへの心地よい連携をめざし、「水と緑のネットワーク」の核となる空間形成をめざします。

信濃川と市民が実質的、精神的に近づいた存在になることをめざします。治水事業により信濃川の安全性が高まり、そのことで河川敷の緑化や活用が考えられるようになった歴史や、治水と活用のバランスを認識したり、あるいは信濃川の生態系等、信濃川について学ぶ機会を設けたり、また信濃川から始まる、市民の精神的な「水と緑のネットワーク」づくりをめざします。

信濃川河川敷の保全や活用等について市民や行政等で考え、大河信濃川にふさしい景観づくりを進めます。特に都市交流ゾーンでは信濃川として、長岡の都心部としてふさしい緑化を進めます。

信濃川に生息する多様な生物にも棲みやすい自然的環境の保全を図ります。

(5) 緑化重点施策

信濃川沿いや堤内とのネットワークづくり

堤防等を活用した散策路の整備

- ・信濃川桜つつみ整備事業

河川敷や堤防等を散策するための、ユニバーサルデザインに配慮したアクセスの整備

河川敷内に市民が散策したり、憩えるような空間の計画・整備

- ・長岡水辺プラザ整備事業

市民が憩い、交流できる空間づくり

信濃川を訪れる人々の拠点となり、また信濃川を介して交流できる空間の整備

- ・長岡水辺プラザ整備事業

市民が、河川敷で保全及び緑化活動を行ったり、ボランティアを進められる空間の確保

市民が信濃川に親しむ機会づくり

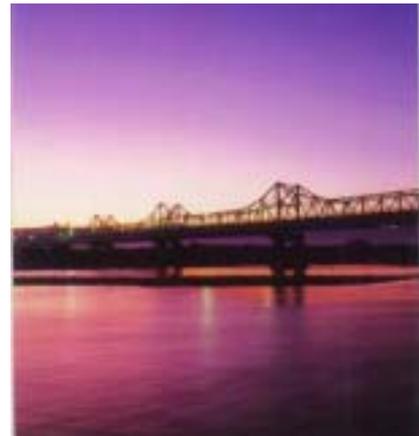
長岡水辺プラザの整備や河川敷の保全活用について話し合う会議やワークショップの開催

河川敷の散策路や信濃川へのアクセス、休憩場所等を示した案内マップの設置

信濃川の自然や文化を案内したり、保全活動等のリーダーの育成

小中学校等で信濃川の自然等を学べる体験学習等のプログラムづくり

市民が信濃川で探検・学習等ができるイベント等の開催



信濃川及びその周辺地区・計画図

